

東横堀川の特徴を活かし、都市の水辺ならではの可能性を舟運・水辺アクティビティで拓きます

①保管係留エリア

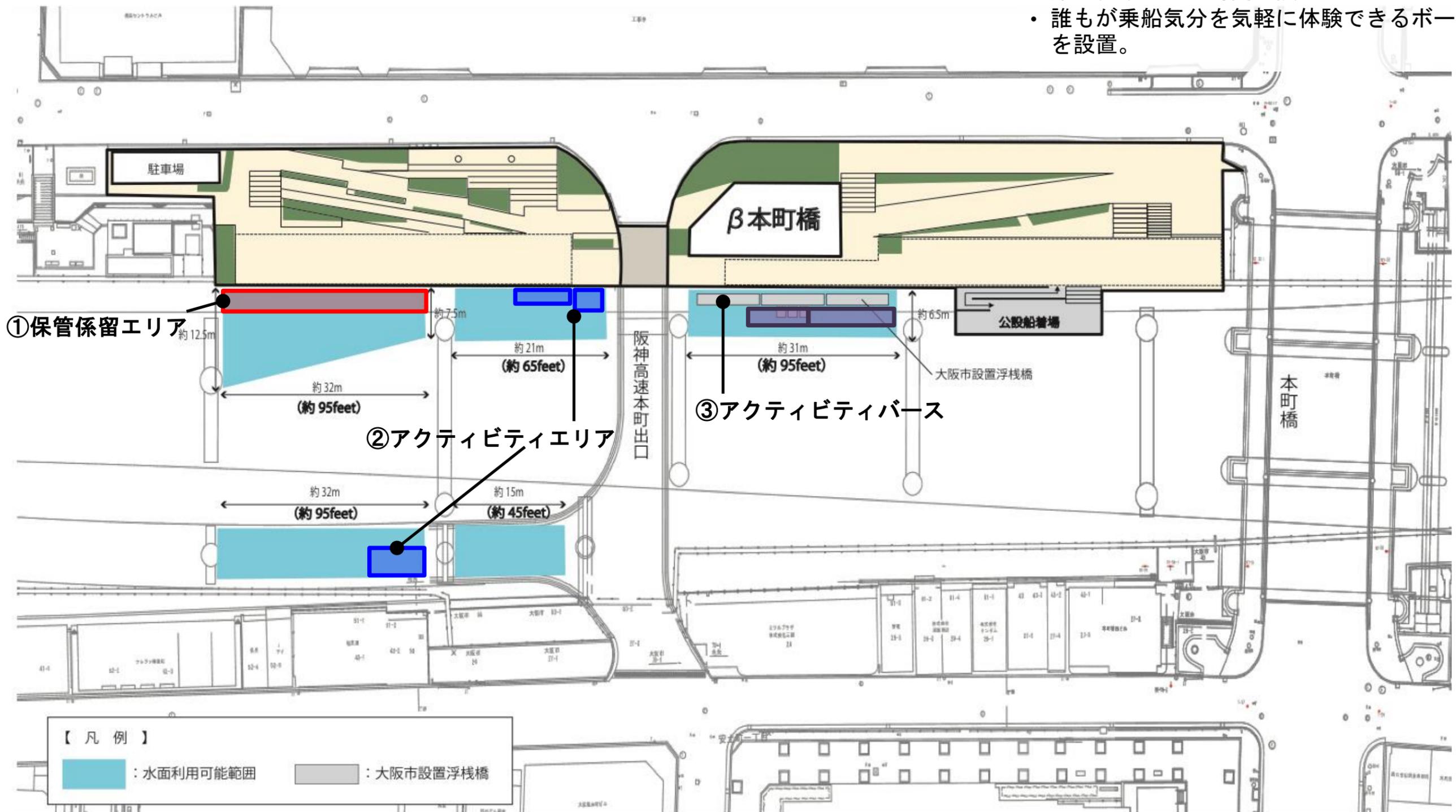
- 舟運活性化に寄与するため、契約船舶が常時係留できる施設として運営する。
- 舟運事業者に公平公正に募集し、係留希望の船舶の募集を行い、安全な利用ルールのもと、多様な船が安全に係留できるよう運用。

②アクティビティエリア

- 台船をアクティビティ拠点とするとともに備品保管場所などとして活用する。
- アクティビティエリアの範囲を利用者及び航行船舶に示すため、エリアの端にブイを設置する。

③アクティビティバース

- β本町橋主催のサップや水上自転車などの水上アクティビティ体験、気軽なクルーズ体験の乗降場所として運営する。
- サップやカヌーなど人力船の個人利用を受け入れ、安全安心な活用管理をする。(有償、個人利用は船の往来しない時間に限り)
- 誰もが乗船気分を気軽に体験できるボートルームを設置。



東横堀川の水辺の特徴を最大限に活かした人力船による水上アクティビティ拠点

- ・ 東横堀川の全天候型の立地を生かし、雨天時も暑い日も楽しめる都市型の新しい水上アクティビティ拠点として運営を行います。
- ・ オープンに合わせ、夏でも涼しい環境を活かしたプログラムから始め、a～dのプログラムを季節やニーズに応じて検討し実施していきます。

隠れ家でゆったり涼む

- ・ 高速道路の高架橋で覆われた東横堀川。「暗い」「汚い」等のマイナスイメージもあり、観光船も素通りするような状況ですが、実は、高架橋のお陰で夏はととても涼しく、また、雨風にも強い全天候型のフィールドである。
- ・ その特性を活かし、本町橋の施設前に「涼み舟・隠れ家風（テント等）」に装飾した丸形サップボートを浮かべ、東横堀川の水上の涼しさを体感できるアクティビティを実施する。

【実施日】

- ・ 2021年8月29日(日)、9月3日(金)、4日(土)、5日(日)の計4日間

【実施時間】

- ・ 10～17時※最大開催数60回(60分の場合)

【実施場所】

- ・ 東横堀川(β本町橋前)
※船舶の往来がない高速道路の橋脚の外側にて

【詳細】

- ・ 丸形サップボートを浮かべ(3艇予定)、そのスペースをレンタルする
 - ①1艇の定員は4名まで（子供のみ参加は不可）
 - ②検温、手指の消毒等、コロナ感染対策を徹底する
 - ③レンタル時間30分、60分、90分から選択
 - ④飲食の持ち込み可(かき氷等のサービス検討)
 - ⑤担当スタッフがすぐ近くで安全管理を行う

【費用】

- ・ 30分1名1,500円～ ※時間、人数により変動

【実施主体】

- ・ 一般社団法人 日本シティサップ協会

a.体験型スクール

- ・ 楽しみながら水上アクティビティや漕行ルールを学べるスクール形式のアクティビティ体験
- ・ サップ、水上自転車がメイン

【予定コース】

- ・ 東横堀川水門～β本町橋（体験時間60分）

【開催時期・時間】（案）

- ・ 時期：通年・時間：10時～17時の間で随時

【定員・料金】（案）

- ・ 最大定員：4名／各回
- ・ 料金：平日4000円 土日祝5000円（※小学生以下は半額）

c.水上さんぽガイドツアー

- ・ ガイドをしてもらいながら、普段とは違う視点で楽しむ水上さんぽ体験
- ・ オーダーメイドコースのグループ乗船体験

【予定コース】

- ・ 東横堀川水門～道頓堀川水門（水門内）（体験時間10分～）

- ・ 例）水門&歴史見学コース：約20分2000円／道頓堀コース：約50分5000円

【開催時期・時間】（案）

- ・ 時期：通年・時間：10時～17時の間で随時

【定員・料金】（案）

- ・ 最大定員：丸型サップ4名まで
- ・ 料金：10分1000円～
- （※コース・時間指定可、小学生以下は半額）

b.水上ピクニック

- ・ 丸型サップに乗った非日常空間でのピクニック体験
- ・ ツール貸し出しあり（椅子テーブル・パラソル・ピクニック用テントなど）

【予定コース】

- ・ 東横堀川水門～β本町橋（石垣周辺）（体験時間30分～）

【開催時期・時間】（案）

- ・ 時期：通年・時間：10時～17時の間で随時

【定員・料金】（案）

- ・ 最大定員：丸型サップ4名まで
- ・ 料金：30分2000円／1艇1人
- （※1名追加 +1000円、延長15分 +1000円）

d.イベントツアー

- ・ 水の回廊をぐるっと探訪できる本格コース
- ・ 丸型サップ、カヌー、カヤック、サップ、水上自転車等の人力船全般が楽しめる

【予定コース】

- ・ β本町橋（オリエンテーション）～東横堀川水門～土佐堀川～木津川～タグボート大正～道頓堀川水門～道頓堀川～東横堀川～β本町橋（体験時間：約5時間）

【開催時期・時間】（案）

- ・ 時期：通年（月1回程度想定）・時間：10～15時

【定員・料金】（案）

- ・ 料金：8000円／人
- （※各種レンタル費込、小学生以下は料金半額）
- ・ 丸型サップ以外は経験者のみ自艇持ち込みの場合は3000円オフ



【出典】水上ピクニックと水上自転車

【出典】イベントツアーイメージ

東横堀川から水都大阪・大阪湾へ これまでにないオリジナリティあるクルーズを展開

- ・北浜・中之島や道頓堀などの人気エリアへのアクセスのほか、海まで航行できる事業者の強みを生かし、これまでにないオリジナリティあるクルーズを展開します。コロナ禍でも安全に気兼ねなく楽しめる水上のプライベート空間を演出します。
- ・クルーズや水辺アクティビティを通して、水都大阪の水辺拠点と連携も進めます。

川と海を結ぶ海釣りクルーズ

- ・川と海のつながりを体感できる、まちなか発の釣り体験クルーズを実施します。
- ・釣りを通し、身近な環境や食への理解を深めます。

【実施日】

- ・2021年10月中（週に1回実施）

【実施時間】

- ・10~14時（4時間~6時間）

【実施コース】

- ・東横堀川(β本町橋前)~ベイエリア

【詳細】

- ・β本町橋を出発し1時間のクルーズで大阪湾へ。
- ・大阪湾にて旬の魚の釣りを実施（スタッフによる補助により初心者でも気軽に参加できるよう工夫する）
- ・大阪湾内で魚が釣れやすい秋期よりはじめる。
- ・他の季節はニーズや状況に応じて開催。

【費用】

- ・最大定員：10名まで
- ・料金：12000円（1人あたり）※貸し竿料金含む

【実施主体】

- ・(株)グローリア
- ・一般社団法人 水辺ラボ



a. シーズナルクルーズ

- ・春夏秋冬に応じた季節ごとのシーズナルクルーズを企画・実施します。

【実施時間】・10~17時（各回60分~）

【実施コース】

- ・発着はβ本町橋でそのほかコースはオーダーメイド（乗船時間90分）※コースについては事前にメールで要連絡

【詳細】

- ・春期：春の桜貸切クルーズ（大川を中心に）
- ・秋期：海釣りクルーズ（大阪湾を中心に）
- ・冬期：あったか夜景クルーズ（大川を中心に）

【費用】

- ・最大定員：10名まで
- ・料金：38000円（1艇貸切）

【実施主体】・(株)グローリア

【第1段・夏季】スイーツ and ワインの人気店コラボ かき氷クルーズ

- ・人気店とコラボした特製かき氷を食べながら、本町橋横で流れる滝、中之島の噴水や虹など、様々な「キラキラ」を探しに行くきらめきクルーズ。

【実施日】

- ・2021年8月29日(日)、9月3日(金)、4日(土)、5日(日)の計4日間

- ・13:00 / 14:30 / 16:00 / 17:30 / 19:00 発
※天候や潮位の関係により、変更になる場合がございます

【実施時間】

- ・13:00 / 14:30 / 16:00 / 17:30 / 19:00 発（各50分）

【実施コース】・東横堀川(β本町橋前)~中之島

【費用】

- ・最大定員：12名まで
- ・料金：3000円（1人あたり）

【実施主体】(株)グローリア

b. チャータークルーズ

- ・家族や友人など、限られたメンバーでより安全に気兼ねなく楽しめる水上のプライベート空間を演出。
- ・様々なオケージョンに応じたパーティなども施設と連携しアレンジする。

【実施時間・コース】

- ・要望に応じてアレンジ
- ・発着はβ本町橋でそのほかコースはオーダーメイド（乗船時間90分）※コースについては事前にメールで要連絡

【費用】

- ・最大定員：10名まで
- ・料金：38000円（1艇貸切）

【実施主体】(株)グローリア



水上活用実験による、水上・水辺の新たな可能性への挑戦

- ・ 水面利用可能範囲を活用し、水上・水辺の新たな可能性を広げるため、水上活用実験を重ねながらボートホテルなどのこれまでにない水上・水辺の利活用へつなげ、水都大阪の新たな魅力づくりに貢献して行きます。

社会実験事業：水上キャンプモニター（2021年）

■仮説

- ・ 水門で囲まれた安全な環境、阪神高速高架による屋根がかかった空間性を活かし、他にはない川の特徴を活かした新たな形の水上空間の活用を広げていくことが、将来的には民地・地先・水面と合わせた水面付き店舗・住宅などのシンボル空間創出につながるのではないか。

■水上活用実験

①β本町橋オープニングに合わせた水上キャンプのエキシビジョン

- ・ β本町橋のオープニングに合わせて水上キャンプサイトを設置し、エキシビジョンとして展示を行う。

【実施時期】 8月下旬：β本町橋のオープニングイベント～1週間程度

【場 所】 東横堀川（β本町橋前棧橋付近）

② 水上キャンプのモニターキャンプの実施

- ・ 水上キャンプのモニターを募集し、水上キャンプのモニターキャンプを実施。
- ・ モニターアンケート（ヒアリング）及び関係各所との調整等を通して、水上キャンプを通じた水上活用の新たな可能性や課題などを洗い出す。

【実施時期】 8月下旬～：モニター募集

9月中旬～：モニターキャンプの実施（1日1組 限定5組）

【主 催】 水都大阪コンソーシアム・β本町橋共同事業体

【将来展開（例）】ボートホテル事業

- ・ β本町橋を運営していく上で、市場ニーズが高まり資金調達ができれば、係留したボートとβ本町橋の施設を活用したボートホテル（民泊施設）の運営を検討します。

【事業イメージ】

- ・ 係留したボート（動力なし予定）をベッドルームとして提供する民泊施設の運営。
- ・ フロント機能やシャワー及びトイレなどの水回りは施設内のものを活用。



《水上キャンプ イメージ》



【出典】 Water view cabin on Granddaddy Oak covered farm（フロリダ）



【出典】 淀川アーバンキャンプ2018

舟運活性化に寄与する、水辺のステーション・マリーナ事業

- ・水都大阪の舟運活性化に寄与するため、契約船舶が常時保管係留のできる施設として水辺のステーションを運営します。
- ・β本町橋の施設の運営時間は10:00～22:00である。
- ・民営バースは管理者による適正な管理により、安心安全に運用する。
- ・民営バースの運営においては、隣接する公設船着場（本町橋船着場）の適性利用を呼びかける。

アクティビティバース

- ・β本町橋主催のサップや水上自転車などの水上アクティビティ体験、気軽なクルーズ体験の乗降場所として運営する。
- ・サップやカヌーなど人力船の個人利用を受け入れ、安全安心に活用してもらうよう管理する。（有償）
- ・船の往来する時間（水門の稼働時間）は、スタッフ管理の元で航行する。船の往来する時間外は個人利用を可能とする。
- ・船舶を係留し、誰もが乗船気分を気軽に体験できるボートルーム（予約制）として運営する。
- ・救護艇を係留し、水門内での水難事故などに対応する。
- ・予約制の一時係留バースとしての運営は、今後社会実験を実施してニーズの把握・適切なルールを検討し、将来的に実現していく

アクティビティエリア

- ・台船をアクティビティ拠点とするとともに備品保管場所などとして活用する。
- ・アクティビティエリアの範囲を利用者及び航行船舶に示すため、エリアの端にブイを設置する。

保管係留エリア

- ・舟運活性化に寄与するため、契約船舶が常時係留できる施設として運営する。
- ・契約船舶の係留場所での営業（水上レストラン等）は不可とする。
- ・契約船舶の係留場所は護岸への係留となるため、係留場所での乗船はスタッフのみ可とする。
- ・乗客の乗船は公設船着場を利用する事とし、公設船着場の利用申請は各契約船舶が水上安全協会へ申請する。
- ・契約船舶は、航行計画についてβ本町橋に知らせることとする。

【利用者選定方法について】利用可能な水面に限りがあることから、以下のルールでバース利用者を選定する。

- ①水上安全協会登録の舟運事業者に平等に案内
- ②審査会において応募した係留船舶の審査を行い、係留船舶を決定する。
審査員：東横堀川水辺再生協議会会長・一般社団法人水辺ラボ代表理事 等
審査基準：地域貢献の実績、現場責任者の施設コンセプトの理解度 等
- ③バース数に空きがでた場合には追加募集を行う（基本的には事業者1社1艇とする）

【係留船舶の条件】

- ・船舶普通期間保険及び船主責任保険への加入
- ・船検証などの法的に必要な手続きが行われている事
- ・大阪市内の河川での運行実績がある事
- ・エンジン音が適切な範囲の大きさである事（著しく大きく周辺への騒音となる可能性がある場合は保管係留不可）
- ・係留ルール及び河川水域航行ルールを守り係留・航行する事を厳守する旨の誓約書を交わす事。
- ・上記の条件が守られない場合には運営者の意向で契約を破棄できることとする。

利用料金：契約金：30万／1艇（3年更新：更新料5万円） 係留料：1,300円／フィート・月 サービス：アクティビティバースのメンテナンス利用可（水・電気あり） インフォメーションにおける契約者主催クルーズの案内 その他：チケット販売代行、ドリンク等の補充支援
--

β本町橋の係留施設利用におけるルールは以下の通り。

1) β本町橋での出航手続き

- ・事前：公設の本町橋船着場を利用する場合は、各係留船が利用申請を行う。
航行計画書を作成し提出する。
※β本町橋施設スタッフはもとより、係留利用者にも安全講習の受講を徹底（契約時に安全講習を実施予定）。
- ・当日：β本町橋施設にて運転者の船舶免許証の確認、アルコールチェックを行う。
河川水上航行ルールの確認及びルールを厳守した航行について合意書にサイン。
※船舶の所有者以外が操縦する場合も想定し、操縦者にルールを徹底周知。

2) 航行船舶が優先、通航船舶がある際は発進禁止

- ・乗船前にNPO法人大阪水上安全協会のホームページ内の「公共船着場スケジュール」にて水門通過の船を確認して乗船。
※水門事務所と連携し、急な変更情報も把握し利用者に周知します。
- ・上流・下流設置の航行状況確認カメラ（2箇所設置）映像をスマートフォン用アプリにて離岸前に確認。
- ・上流・下流の状況を十分に目視にて確認し、航行船舶がいない事を確認後に発進。

3) 大阪府・大阪市「河川水上航行ルール見直し案」を厳守

- ・β本町橋周辺は、特別航行区域（船幅制限5m）、回転禁止、行き会い・追越しは切欠部のみで可に指定。
- ・定期航路船舶、生活航路船などを妨げる航行は禁止。
※今後「航行ルール」の改変などが行われた場合は、新たなルールを周知・徹底。

4) 周辺住民に迷惑になる航行・係留は厳禁

- ・騒音（大音量のBGM、大声、高速走行音など）、係留船舶での火気使用などは禁止。

5) 定められた係留位置・係留時間を厳守

- ・契約船舶：契約者であっても契約船舶以外の船舶の係留は厳禁。※契約者が別の船舶を係留する場合には事前に申請が必要。

6) 係留場所での営業行為は禁止

- ・契約船舶：係留場所でのスタッフ以外の乗船は禁止。係留場所に係留した状態で乗客を乗せた営業は禁止。
→例) 船上レストラン、船上パーティ、船上貸出 など
- ・乗客の乗船は公設船着場を利用する事。

7) 河川・護岸・船着場などのみんなの場を大切に

- ・護岸・船着場を傷つけないよう緩衝材を自ら準備・徹底。ゴミ投棄・放棄などは厳禁で環境を大切に。

8) 係留施設の存在を広く周知し「徐行」を呼びかけ

- ・「徐行・係留施設あり」の呼びかけ看板を設置し、航行する船舶に注意喚起

9) 船舶の管理は自己責任

- ・潮位の干満差が大きいことに注意（低い橋の航行可能時間を要確認、干満を考慮したロープ長など）。
- ・乗員が乗降する時には、作業船等の船舶の航行による引き波・揺れに注意。救命胴衣の着用は必須。落水注意。
- ・船舶を引き波等の衝撃から守る緩衝材を自ら準備・徹底する、防犯対策は個々に実施。
- ・船舶普通期間保険及び船主責任保険への加入は必須とし、係留船舶により生じた事故などの責任は船舶保有者にあるものとする。

設置運営を行う駐車場事業及び維持管理事業は周辺環境に配慮し適正に維持管理を行います

① 駐車場

- ・ 駐車場として、精算機・駐車場設備を導入し、時間貸し駐車場運営を行います。

【事業概要】

- ・ 営業時間：24時間365日稼働（メンテナンス等以外は年中無休）
- ・ 駐車場台数：7台

【委託事業者】

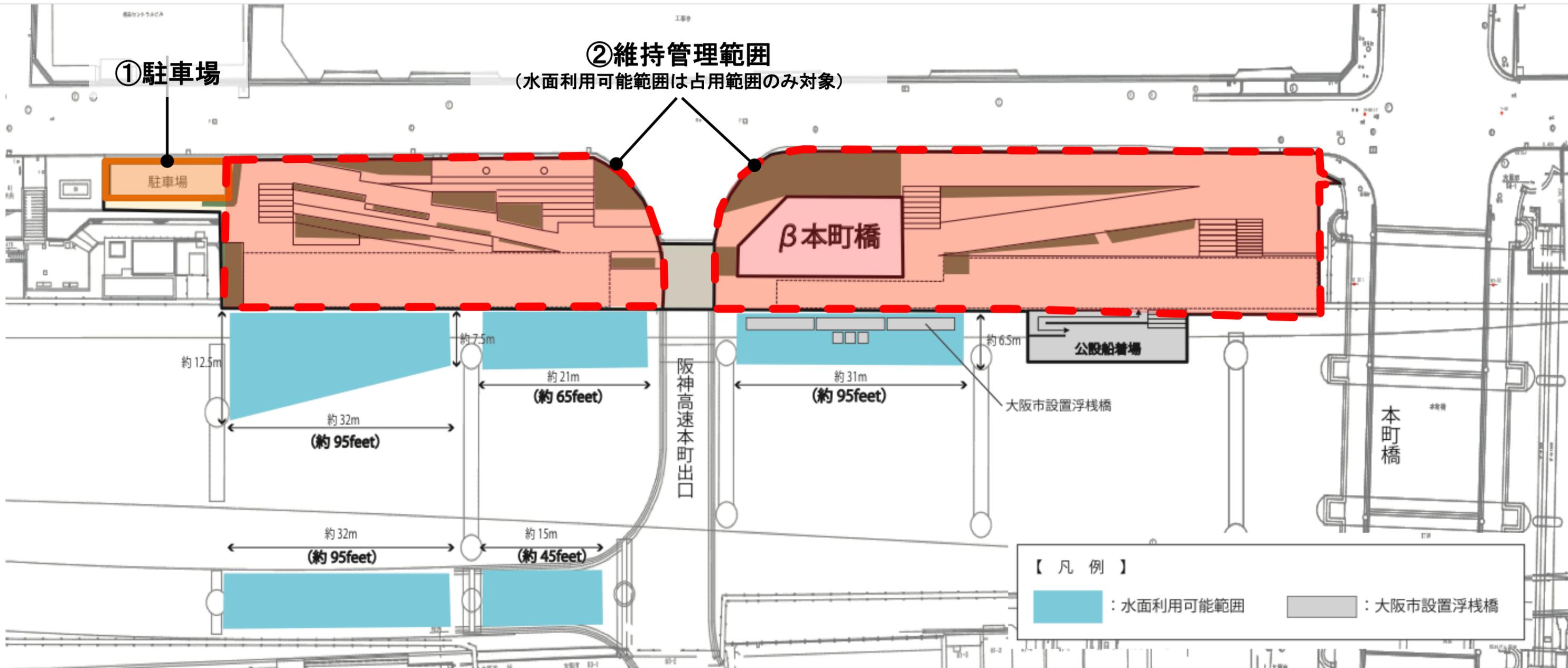
- ・ ショウワ電技研（株）

② 維持管理事業

- ・ 「本町橋BASE」にぎわい創出拠点・管理運営事業に係る維持管理等に関する協定に基づき、公園と水面を快適に維持管理する日常管理を行います。

【委託事業者】

- ・ 大阪造園土木（株）
※専門的な知識や技術が必要な維持管理作業の委託を予定。



β本町橋を通して発見する、まち・人・水辺とのつながり

- ・ β本町橋を運営しながら、地域と交流できる機会をもち、社会貢献事業にも積極的に取り組みます。
- ・ β本町橋として地域活動等に参加するだけでなく、β本町橋の利用者やまちの活動に興味のある方を地域とつなげ、横のつながりやネットワークづくりを行います。

地元と連携した清掃活動

- ・ β本町橋の位置する公園の公園愛護会である東横堀川水辺再生協議会や本町橋100年会、界隈の店舗・事業者と連携し、β本町橋や東横堀川界隈の清掃活動を行い、地域との協働による美化・清掃活動を行います。

【実施時期】 適宜（月1回程度）

【連携先】

東横堀川水辺再生協議会
本町橋100年会
東横堀川界隈の店舗・事業者



オープンパーティ

- ・ β本町橋での事業や取り組みを紹介し、地域や社会に知っていただく機会としてオープンパーティを開催します。
- ・ β本町橋で活動する人・団体の紹介も行い、β本町橋を介した横のつながり・ネットワークづくりを促進します。

【実施時期】 年1回程度

【連携先】

東横堀川水辺再生協議会
東横堀川界隈の店舗・事業者



水辺・まち・人の可能性を育てるエンジンとしての事業活動

- β本町橋は、①調査や研究を通して調べること、②まちづくりやエリアマネジメントについて考えること、③多様な主体とともにまちの課題解決や新たな価値の創造に向けてやってみること、④①～③を通じて得た知見や水辺・まち・人の魅力を伝えることで、水辺・まち・人の可能性を育てるエンジンになります。

1 調べる

- 公共空間におけるにぎわい創造事業の取り組みや、β本町橋を中心とした東横堀川エリアでの動きを調査・研究します。
- 新たな公民連携のあり方や、水辺の新たな仕組みづくりに貢献します。

【連携先】

- 水都大阪コンソーシアム
- 大阪府立大学大学院 生命環境科学研究科 緑地環境科学専攻 緑地計画学研究室
- 関西大学社会学部社会学科メディア専攻 など

2 考える

- 東横堀川エリアを中心にまちづくりやエリアマネジメントの在り方、水辺・まち・人の可能性や未来を考える場を設けます。

【実施内容】

- 広く知見を得たり、意見交換する場を設け、まちやパブリックの仕組みを考える場を設けます。
- オープンミーティング
- ワークショップ
- トークイベント（ペチャクチャナイトなど）

【資金源】

- 事業の収益を還元
- クラウドファンディング
- 一般社団法人水辺ラボ基金
- 企業協賛
- 補助金

4 伝える

- ①～③やβ本町橋の取り組みを、情報発信や展示、体験プログラムなどを通して伝え、東横堀川から世界に、水辺・まち・人の可能性を広げます。

【実施内容】

- ホームページやSNSによる情報発信。
- β本町橋内での体験を伴う展示などによる発信。
- 水辺・まち・人にフューチャーした体験プログラム
- 教育研究機関や・地方自治体などを中心とした視察などの受け入れ など

【連携先】

- 関西大学社会学部社会学科メディア専攻 劉研究室など

3 やってみる

- 河川や公園、β本町橋をフィールドに、多様な主体のやってみたい事や、チャレンジを応援します。
- 多様な主体をコーディネートする事で、多様な主体によるプロジェクトを育てます。

【実施プロジェクト】（例）

- お掃除プロジェクト（連携：東横堀川水辺再生協議会）
- 公園花壇プロジェクト（連携：東横堀緑道愛護会）
- お野菜プロジェクト（連携：GreenGroove）
- βイチプロジェクト（連携：東横堀川水辺再生協議会）